



# 四 気 折 々

川越町立川越中学校  
「学校だより」 第 39号  
令和6年12月17日(火)  
全国駅伝大会で飛躍した川中生！

四気=川越中校訓 「やる気 ほん気 こん気 げん気」の4つの気  
学校教育目標 『豊かな心』を土台とした「確かに生きる」力の育成

- ・自分を大切にすること
  - ・他者を大切にすること
  - ・粘り強くやり切る
  - ・人を大切にすること
  - ・安全で安心できる
  - ・地域や保護者とともにある
- 生徒 学校 づくりを目指します。

**第32回『全国中学校駅伝大会』感動と元気をもらいました！**  
みなさんの応援を心に受け止め、チームみんなで全力で粘り強く最後までタスキをつないだ結果が「堂々の31位！」だと思います。

三重県代表として、川越中学校の代表として本当に頑張ってくれました。順位を見ると目標に近づくことはできませんでしたが、川越中学校「男子駅伝チーム」みんなの一生懸命が「31位」という素晴らしい結果につながったと思います。良かった面は継続し、悔しさが残る思いは、2年生と1年生で来年度に向けてしっかりつなげてほしいと思います！



## 第32回全国中学校駅伝競走大会の校長からのお礼（駅伝チームを支え、応援をいただいたすべての皆さんへのお礼）

32回を数える、伝統ある全国中学校駅伝大会に三重県代表として、常にチームみんなで目標に向けて頑張り、全国大会出場を勝ち取ったみなさんを誇らしく思います。感謝の思いを込め、心からおめでとうの言葉とありがとうの言葉を伝えたいと思います。この言葉は、男子チームだけではなく、三重県大会で惜しくも2位となり、目標としていた全国大会出場をあと一歩のところまで大健闘をした女子駅伝チームの皆さんにも、心から三重県大会第2位おめでとう！そしていままでありがとうの言葉も伝えたいです。

今回の全国大会出場にあたり、子どもたちを一生懸命支え、いつも全力で応援をいただく保護者の皆さまをはじめ、川越町陸上少年団の指導者の皆さま、川越町城田町長、稲垣教育長、地域関係の皆さま方にも心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。また、川越中学校体育科の先生方には、ご自身の顧問を担当している部活動と合わせて、駅伝チームの活動にも9月後半から約3ヶ月間を熱心に、一人一人の心とからだのコンディションにも寄り添いながら丁寧な対応をいただいたことにも敬意を表します。

本校では、駅伝への取り組みが学校全体での「一体感」と「活気」を生み出す大切な行事となっています。川越中学校では、『駅伝チーム結成』する際には、全校生徒の中から男女合わせて2年連続で60名を超える子どもたちが参加をしてくれます。選考過程で、残念ながら途中でチームを離れる選手もいます。しかし、その選手も含めて学校みんなで駅伝を頑張ろうという雰囲気が根付いています。また、川越中学校では3年連続で、生徒たちが有志として先生と一緒に一生懸命に時間をかけて「手づくりの応援旗」を作成してくれています。手作りの応援旗にあたたかいメッセージを書き込んでくれた全校生徒と先生方。熱心に指導をいただく先生と陸上少年団の指導者の皆さんすべてが同じ目標に向かい一緒に頑張ってきました。全国の地、滋賀でも応援旗に見守られ、伝統の「濃緑タスキに心を込めて」ゴールまで精一杯につないでくれました。このあたたかい心のこもった「応援旗」は全国大会の会場でも選手の頑張りを見守って見守ってくれていました。

このような多くの皆さまの支えと応援を背に選手たちは全力で頑張ってくれました。冬の寒さが厳しく、アップダウンの激しい全芝生のコースという慣れない環境の中でも、誰一人最後まであきらめることなく一生懸命にタスキをゴールまでつなげてくれました。その結果が『堂々の31位』という素晴らしい結果となりました。駅伝文化の根付く川越町で、全校生徒・教職員・保護者・地域の皆さまはじめ多くの皆さまに応援をいただいた想いを力にかえて全力で頑張ることができた選手たちは、本当に幸せだと思います。ぜひ、この頑張りをこれからの人生につなげてほしいと思います。

今までも「学校だより」「ホームページ」等からも発信をさせていただいておりますが、学校を代表して、駅伝にかかわっていただいたすべての皆さまへのお礼の言葉とさせていただきます。心からありがとうございました。

令和6年12月16日(火) 校長 田口 佐登志

第32回 全国中学校駅伝大会【男子の部】 総合順位(入賞まで)				
1位	埼玉県	鶴ヶ島市立藤中学校	(初出場初優勝)	合計タイム 57分17秒
2位	千葉県	我孫子市立我孫子中学校		合計タイム 57分51秒
3位	静岡県	浜松市立細江中学校		合計タイム 57分57秒
4位	広島県	坂町立坂中学校		合計タイム 58分13秒
5位	福島県	猪苗代町立猪苗代中学校		合計タイム 58分14秒
6位	岡山県	岡山市立京山中学校	(昨年度優勝校)	合計タイム 58分23秒
7位	熊本県	宇城市立松橋中学校		合計タイム 58分29秒
8位	宮崎県	宮崎市立大淀中学校		合計タイム 58分45秒
32位	三重県	川越町立川越中学校	(7年ぶり6度目の出場)	合計タイム 1時間00分24秒

区間	距離	と 区間タイム	名 前	クラス
1	3.0 km	9分46秒	星野 駿人 (ほしの はやと)	3年3組
2	3.0 km	9分31秒	服部 涼大 (はっとり りょうた)	3年4組
3	3.0 km	9分59秒	川村 優月 (かわむら ゆづき)	1年1組
4	3.0 km	10分27秒	早川 大凱 (はやかわ たいが)	2年4組
5	3.0 km	10分11秒	幸田 恵輔 (こうた けいすけ)	2年4組
6	3.0 km	10分30秒	福田 蒼 (ふくた ほまれ)	1年4組
飯田 涼太郎 (いいだ りょうたろう)	3年3組	小野寺 楓駕 (おのでら ふうが)	2年2組	
服部 倅大 (はっとり こうた)	1年3組	加藤 綾人 (かとう りょうと)	3年4組	
早川 修平 (はやかわ しゅうへい)	2年4組	高橋 征一郎 (たかはし せいいちろう)	2年3組	
山下 侑真 (やました ゆうま)	2年4組	山城 安翔 (やましろ やすと)	1年3組	





## 【 全国駅伝大会 1区から6区までの区間を全力で走り切った選手の感想から 】

### 1区 3年 星野 駿人 さん

自分としては1区でスタートから最初のスタートはよい位置にいてよいポジションをとろうとしたけど、外側から抜かされてペースが急に上がってしまって、1区みんなのペースに乱されてしまった。

いつもよりは気持ちが落ち着いていなかった。焦りが出てしまい、下りで勢いがつきすぎて転倒しかけたがすぐに立て直すことができた。その後は粘り強く走り切ることに切り替えて頑張ることができた。

次の目標は1月の都道府県対抗駅伝（全国駅伝大会）に中学校区間で走ることを目標に頑張りたい。

高校では全国高校駅伝大会において、花の1区で区間賞を取ることを目標にしたい。今のチカラでは、まだまだなので、1回1回の練習に努力する大切さを忘れないで頑張っていきたい。

### 2区 3年 服部 涼大 さん

レベルの高い中でも、もっとやれたかなあという悔しさが残っている。個人としては2区で区間賞を狙っていたが全国で5位だったことも悔しい。そんなレースの中でも最後まで粘り切れたのはよかった。全体的に後半が芝生に脚を取られてしまった。全国のコースはほとんどが芝生で走りにくかった。これからの目標は都道府県大会の全国駅伝大会で、中学生区間の2つの枠に入ること。高校に進学してからは、都大路を走って区間賞を目指していきたい。全国大会での悔しさを活かして全国大会出場を目指したい。

### 3区 1年 川村 優月 さん

他の県の選手の雰囲気にはじめからのまれてしまって、すごく緊張をした。自分の中では頑張ったが、抜かれていってもついていったけど、後半は疲れてしまったことと、アップダウンが多くて、このようなコースは初めてなのでかなりしんどかった。自分なりに最後まで粘り強く走り切ることができた。来年も再来年も全国大会に出場をして入賞を目指したい。

### 4区 2年 早川 大凱 さん

はじめはきつかったけど、最後まであきらめずにタスキを渡すことができたことはよかった。アップダウンのコースがかなりしんどかった。これからは、新たにキャプテンとして気持ちを強くして、根性を出して頑張りたい。

### 5区 2年 幸田 恵輔 さん

自分的には入賞できなかった悔しさはあるけど、初めての全国の舞台で、タスキをつなげたことがよかった。負けている立場ではあったけど、慌てないで前へ前へという気持ちでついていった。

### 6区 1年 福田 誉 さん

今までの大会の中でも一番緊張をした。緊張していて、タスキをもらった後でも思うよう走り切れなかった。走り始めたら緊張もほぐれて、20位以内に入れることを目指して走った。まわりを見ても速い人ばかりだから、抜かれる中で粘ろうとしたけどついていけなかった。全国の実力が本当によくわかった。アップダウンのコースの対応がなかなかできなかった。来年は今の3年生の想いもしっかりと受け、全国大会に出場をして必ず入賞ができるように頑張りたい。再来年は、入賞よりさらに上を目指したいです。

1区から6区を最後まで粘り強く走り切って、一生懸命にタスキをつないでゴールをしてくれた6人の選手に大きな拍手です。そして本当にありがとう。また、今回はバックアップメンバーとしても、区間を走る選手が走りやすい環境をしっかりとつくってくれて、しっかりと支えてくれたみんなのおかげで、みんなの待つゴールまで走り切ることができたと思います。「川越中学校男子駅伝チーム」は「チーム川越」として、最後まで粘り強くやり切りました！みんなありがとう！